

# みみょう幼稚園だより



## 「みみょうフェスティバル」ありがとうございました



コロナ対策に始まった2020年も残すところ一か月となりました。一年を経過した今も、その脅威は衰えることがなく、日常生活は無論のこと、園生活や月づきの行事にも大きな影響を与えています。

一学期は長期間にわたり登園自粛のご協力をいただかなくてはいけませんでしたが。親子遠足など、中止にした行事もたくさんありました。しかし、そうしたコロナ禍の中においても、ご家族の皆さんの大変心強いご協力のお陰で、二学期には、運動会、フェスティバルと実施していくことができました。参加者の制限をするなどで、

楽しみにされていたおじいちゃん、おばあちゃんたちには残念な思いをさせていただきましたが、いずれも、子どもたちの成長と可愛い笑顔がたくさん見ることのできる行事となりました。このたびのフェスティバルの物品販売では、すべての物品を三等分にし、毎回陳列し直す等、これまでにはなかったご苦勞もしていただきました。順番待ちや会計など、ソーシャルディスタンスを保つ工夫もたくさんしていただきました。ピンチはチャンスといわれますが、力を合わせながら、細やかな工夫や努力をされる保護者の皆さんのお姿を見ることの出来る素晴らしいチャンスとなりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。園におきましても、より一層の注意を払いながら、楽しい園生活を継続させていきたいと思っております。引き続き、ご協力よろしくお願いたします。

## 「みんなであそぼう」を続けることで

「楽しいですね、ぼくもワクワクします。」“とこ先生”は、子どもたちと一緒に大小の作品を作りながら、満面の笑顔でお話してくださいました。子どもたちは子どもたちで、先生からの指示を待っているのではなく、自身のやりたいことをそれぞれに進めています。出来上がった作品はどんどんつながって、先生と子どもたちによる大きな共同制作になりました。



戸川先生と子どもたちによる合作です。

とこ先生こと戸川幸一郎先生には、何年も造形あそびの指導をしていただいておりますが、今年の「みんなであそぼう」の環境づくりについて、高い評価をいただくことができました。

…とは言うものの、作品展に関するアンケートには、ホールの展示等について、「これまでで一番良かった」と言ってくださった方もおられた反面、「子どもの作品（子どもの成長）が分かりにくかった」という感想もいただいております。

「みんなであそぼう」を取り入れて二年目になりました。自己選択、自己判断、自己決定の機会を十分に確保することによって、一人ひとりの自主性を存分に伸ばしていきたいと考えています。今年度は、ハサミや接着剤、パスや絵の具等の用具を、いつでもどこでも使えるように、各部屋にたくさん用意をしました。もちろん、自分自身の持ち物は大切にしていますが、共同で使える道具を増やすことで、使用頻度が増えたのと同時に、みんなで大切にしようという意識も高まってきたと感じています。

また、2階の4部屋とテラスに、それぞれコーナーとしての特徴をしっかりと持たせていきました。この部屋に行けば実験や観察ができる、この部屋に行けば静かに絵本が読める、この部屋では絵の具あそびなどの表現を楽しむことが出来る…等、自分の意思であそびを進める時間が増えたことによって、自主性だけでなく優しさや思いやりの心も育ちました。戸川先生からは、「あそびの中で、物の取り合いなどのトラブルがほとんど無いことにも感心します。」とのお言葉もいただきました。少しずつではありますが、確実に子どもたちの力になっていると先生たちと確認し合うことも増えてきました。でも、だからこそ、もっともっと一人ひとりの育ちや成長の筋道を保護者の皆さんにしっかりと伝えていかなくてはならないと1年の締めくくりを目前に思いも新たにしています。